

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

## FRONTEO社の人工知能「KIBIT」を搭載した ビジネスデータ分析支援システムの導入について

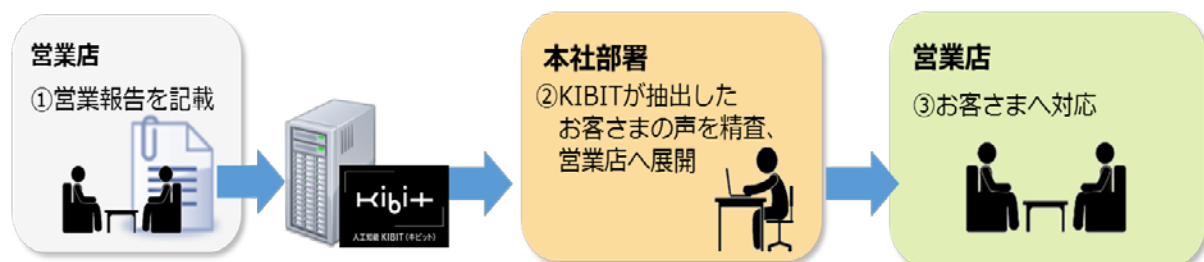
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木三郎、以下当社）は、株式会社FRONTEOが独自に開発した人工知能エンジン「KIBIT」を搭載したビジネスデータ分析支援システム「KIBIT Knowledge Probe」を、2018年6月より導入いたしました。

「KIBIT」の名前は、人間の心の「機微」（KIBI）と情報量の単位である「ビット」（BIT）からなり、「人間の機微を理解する人工知能」という意味が込められています。文章から人の暗黙知や感覚を学び、判断や情報の選び方を再現する人工知能エンジンです。

当社はFRONTEOの「KIBIT Knowledge Probe」を本社部署に導入し、全国62の拠点から寄せられる一日数万件に及ぶ営業報告の解析に活用します。両社が2017年6月から約2ヶ月をかけて行った営業報告データのPoC（概念検証）において、目視によるチェックと比べて約4倍の速さで対象データを抽出することに成功、今後の大幅な作業効率向上が見込まれる結果を得ることができました。

当社は今後、同システムの高精度の解析技術を活用し、お客さまのニーズ調査等へ解析領域を拡大し、より一層、付加価値の高いサービスの提供を目指して参ります。

### 人工知能 KIBIT を用いたチェックフロー



以上